

よねだ さとし
米田 覚士さん (指揮 / 岡山県岡山市 / 千葉県松戸市在住)



©ハービー・山口

【経歴】(2026年4月現在)

2015年 岡山県立岡山城東高校音楽類 卒業
2020年 東京藝術大学音楽学部指揮科 卒業

指揮法を小田野宏・高関健に師事、
ピアノを長瀬賢弘に師事

【受賞歴ほか】

2018年 東京藝術大学安宅賞を受賞
2021年 第19回東京国際音楽コンクール指揮にて
入選・奨励賞を受賞(日本人最高位)
2025年 第59回プザンソン国際指揮者コンクール優勝
(審査員満場一致)

米田覚士氏は、2025年9月、フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで優勝した。世界各地304人の指揮者が参加し、20人による本選一次選考を勝ち抜き、3人による本選最終選考にて審査員満場一致の満点評価による優勝である。当コンクールは若手指揮者の登竜門として世界的に有名なコンクールで、小澤征爾、佐渡裕、下野竜也、山田和樹、沖澤のどか等、日本を代表する指揮者が当コンクールで頂点に立ち、国際的なキャリアの礎を築いており、同氏は榮譽ある系譜に名を連ねることとなった。本人曰く「オーケストラに対するコミュニケーションは、なるべく言葉の指示ではなく、手や腕の振り、顔の表情などで音楽を伝える作業に終始した。」と振り返る。

同氏は東京藝大在学中にパーヴォ・ヤルヴィ、山田和樹の公開レッスンにて研鑽を積み、2021年東京国際音楽コンクール指揮で入選(日本人最高位)及び奨励賞を受賞。以来、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等、国内主要オーケストラを指揮し活動の幅を広げ、若手指揮者として注目度が高まっている。

また、岡山市出身の同氏は、岡山県や中国地方での演奏会にも積極的に出演し、地域の文化活動の貢献に意欲的である。地元のアマチュアオーケストラおよび出身団体である岡山市ジュニアオーケストラに対し、熱心な指導で後輩の育成に情熱を傾けており、今後益々の活躍が期待できる。

受賞の言葉

この度エネルギー音楽賞にノミネートのお話をいただいた際、改めて歴代の受賞者のお名前を拝見いたしました。

錚々たる素晴らしい音楽家の皆さまが名を連ねておられる中に自分の名前が加わるかもしれないのだと思うと、それだけで信じられない思いでした。

私は高校卒業まで岡山でピアノを、その後ピアノの道を諦め、大学指揮科へ進学しました。

当時岡山では指揮を教えてください先生がおらず、指揮科進学のために必要なソルフェージュも同様に、高校を休んで東京まで深夜バスで通いました。

これまで「私の人生はこれでよかったのであろうか」と不安に苛まれたことは数知れず、この先ももしかしたらたくさんの壁が目の前に立ちはだかるのかもしれませんが。

しかし、先々にこのエネルギー賞を受賞された先輩方も同様にその道を経て華々しい活躍があると思うと、私もここで立ち止まるわけにはいかず、また先輩方の後に続いてこの先出会うすべての方々に良い音楽を届けることを目標に精進してまいります。



2024年6月 浅田真央アイスショーにて



2025年8月 富士山静岡交響楽団
青少年名曲コンサート



2023年8月 札幌交響楽団 美幌町公演